

写真による活動説明



1. SRI 稲作農法では播種後 8 日～12 日程度の乳苗を用い、1 株 1 本植え、疎植、正条植えの移植を行う。



2. 各村 3 名、計 117 名の篤農家を対象に稲作技術トレーナー養成研修を 5 回実施する。



3. 2013 年の SRI 農法による平均収穫高は約 4.2t/ヘクタール。伝統的稲作法の平均収穫高 (約 2.1t/ヘクタール) より 2 倍高かった。



4. 2013 年までに 1,833 世帯が SRI 農法を導入した。



5. 2013 年までに 1,076 世帯が養鶏を導入、もしくは規模の拡大を行った。



6. 清潔を保つことができる鶏小屋を設置する。



7. 養鶏・家庭菜園研修においても篤農家 3 名を対象にトレーナー養成研修を実施する。



8. 保健研修では保健ボランティア 2 名を対象にトレーナー養成研修を実施する。



9. 半年ごとに 5 歳未満児の子供の体重・身長を測定する。2013 年は 5 月に 2,016 人、10 月に 2,176 人を測定した。



10. 母親グループに補完食（離乳食）の指導を行う。2013 年までに 976 名の母親がグループに参加している。